

日本共産党 八王子市議団ニュース

2006年1月25日 17期-No.32
 発行 日本共産党八王子市議団
 連絡先 八王子市元本郷町3-2 4-1
 控室 20-7317 ファックス 26-3398
 事務所 42-6344 ファックス 46-8055
 ホームページ <http://www.cpi-media.jp/hachioji/>



新しい年の幕あけ。日本共産党市議団は、笠井亮衆議院議員、清水ひで子都議と共に、新年の参拝客でにぎわう高尾山で迎えました。昨年、列車脱線事故や耐震偽装問題、女児誘拐事件など暗い事件があいつぎました。新しい年が、市民の皆さんにとって安全で安心、実り多い年になりますよう、私達も全力を尽くしたいと思います。本年もよろしくお願いします。

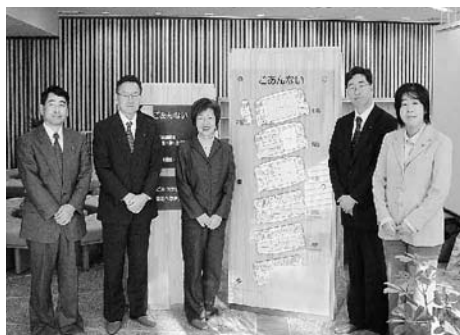
若者の自主性生かす 感銘 高知青少年センターに



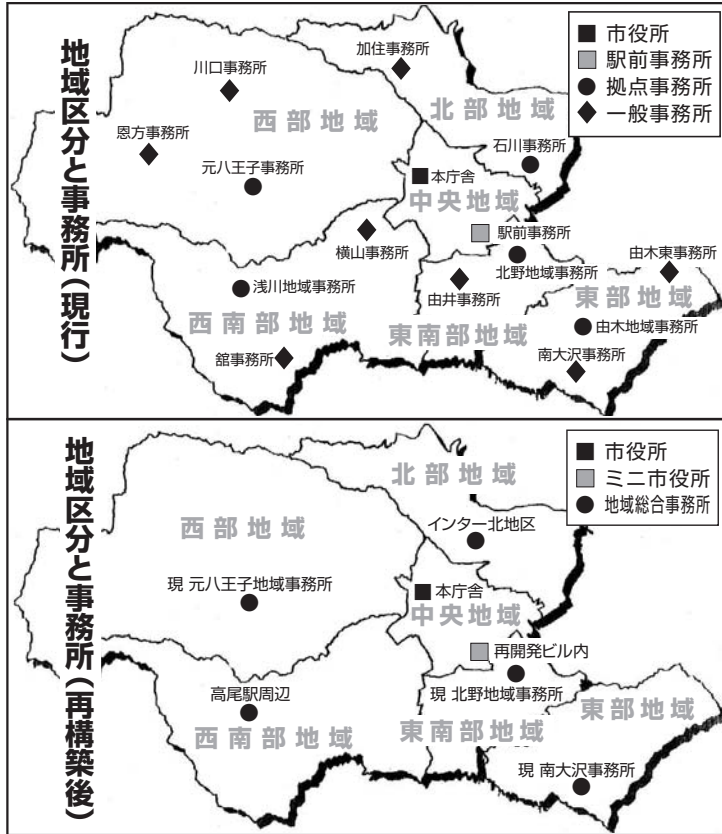
昨年の12月19日、党市議団5人で高知市の青年センターを視察しました。青年団の陳情により1971年に設立され、以来青年たちの自主的な活動の拠点となってきました。30歳まで無料で使え、利用施設の時間調整も協議会をつくり青年自ら行なうなど、青年の自主性を尊重する運営がなされています。

新年度オープン予定の新館は、誰でも自由に入出できるスペース、サークル協議会室、体育館、音楽室、演劇練習室など、青年や児童の意見を細部にわたってとり入れられています。

担当者のお話では「青年たちが、新館づくりにも参加し、生き生きと活動している。なにより、青年の居場所を心配することはないし、自主的活動が大きく前進することを期待している」とのことでした。



ご存知ですか！ 地域サービスのあり方検討会の報告から



八王子市政の大問題、八王子駅南口の再開発が新たな段階を迎えています。八王子市は、1月10日の八王子市都市計画審議会で、総事業費や市の負担も明らかにしないまま、地上40階建てマンションと、市民会館を中心とする都市計画変更案(図参照)を決定しました。

この中で、新たに重大問題が生まれています。それは、南口再開発ビルの中に、もう一つの市役所を設置するというもの。しかも、市の地域サービスのあり方検討会の報告(平成17年9月)では、10ヶ所の地域事務所(恩方、川口、加住、石川、浅川、横山、館、由井、由木東、由木地域)を廃止し、南口をふくめ6ヶ所の総合、拠点事務所に統合するとされています。これによれば、広大な川口、恩方、元八地域は現在の元八事務所一ヶ所になり、西南部地域も浅川、横山、館の3ヶ所が高尾駅周辺に1ヶ所になるなど、市民生活にも重大な影響を与えるものです。

こうした、市のあり方にも大きな影響を及ぼすことが、市民には知らされず、市民合意もないうまま、南口の再開発ビルの中に、もう一つの市役所を先行して、決定するようなことが許されるのでしょうか。

現庁舎、空きスペースは民間に貸し出す

現在の庁舎は、人口60万人を想定し、議会に特別委員会が設けられ、長い年月をかけてつくられたもの。この報告書では、この庁舎を企画部門に特化し、空きスペースは民間やNPOに貸し出すなど活用を図るとしています。第4回定例会で、日本共産党市議団はこうした問題点をきびしく指摘しました。

第4回定例会が(11/30~12/15)行なわれました。日本共産党市議団は全員が一般質問を行ない、市民の願いを実現するために全力を注ぎました。定例会を中心にそのあらましをお知らせします。

八王子駅南口再開発ビルの中に「もう一つの市役所」 10ヶ所の事務所の廃止案も

